資料１

病床に係る地区協議会での協議・報告事項について

①　病床数適正化緊急支援事業に係る協議について

- 与那原中央病院
- 西崎病院
- 博愛病院
- 沖縄セントラル病院
- 友寄クリニック

医療法人　和の会　与那原中央病院

1 病床削減の概要

開設者	所在地（市町村）	許可病床数（削減前）	許可病床数（削減後）	削減予定時期
医療法人　和の会	与那原町	170 床	140床	令和9年3月

2 削減予定病床の病床数・病床種別・病床機能

病棟名	病棟の許可病床数	うち削減病床数	病床種別 （一般・療養・精神）	病床機能 （高度急性期・急性期・包括期・慢性期）	病床稼働率	休床の有無
3階療養病棟	30 床	30 床	療養病床	慢性期	96.3 %	無
合　計	30 床	30床				

3 病床削減の理由

☑ 医療従事者の確保が困難　☐ 病床利用率の低下　☐ 施設の老朽化・建替え　☑ 経営改善・収支の悪化
☑ 他機能（介護医療院・在宅医療等）への転換　☐ 法人内・地域内の機能再編　☐ その他（　　）

看護師の確保が困難で、高額な紹介会社を使用しても充足が厳しい。
安全な看護配置を維持するため、当該30床を削減することとし、介護医療院の30床へ転換を行う。

4 地域の医療提供体制に影響を及ぼすと考えられる事項とその対応状況

療養病床は削減するが介護医療院へ転換するため、患者の受け皿としての影響はないと考える。
削減内容は令和8年9月に与那原町および広域連合、県の医療政策課、高齢者介護課へ説明、相談中。

医療法人　以和貴会　西崎病院

1 病床削減の概要

開設者	所在地（市町村）	許可病床数（削減前）	許可病床数（削減後）	削減予定時期
医療法人以和貴会	糸満市	190床	179 床	令和８年12月

2 削減予定病床の病床数・病床種別・病床機能

病棟名	病棟の許可病床数	うち削減病床数	病床種別 （一般・療養・精神）	病床機能 （高度急性期・急性期・包括期・慢性期）	病床稼働率	休床の有無
５階東病棟	60床	５床	療養病床	包括期	97.06%	無
６階病棟	60床	6床	療養病床	包括期	86.26 %	無
合　計	120床	11 床	療養病床	包括期	91.93%	無

3 病床削減の理由

□ 医療従事者の確保が困難　□ 病床利用率の低下　□ 施設の老朽化・建替え　☑経営改善・収支の悪化
□ 他機能（介護医療院・在宅医療等）への転換　☑法人内・地域内の機能再編　□ その他（　　）

ウェルネス西崎病院との統合を計画進行中である。そのまま統合すると２１０床となる。在宅療養支援病院の基準を継続維持する為には総病床数を２００床未満とする必要があり、１１床削減し統合後病床数を１９９床としたい。新たな地域医療構想に適応するためにも在宅療養支援病院の機能は重要だと考えている。

4 地域の医療提供体制に影響を及ぼすと考えられる事項とその対応状況

ウェルネス西崎病院において休床している介護医療院１５床を再開させる為、患者の受け皿としての影響は無いと考えている。又、令和8年9月に5階南病棟（30床）を急性期一般入院料4から地域包括ケア病棟入院料1へ変更し、病棟機能の再編・強化を図った。これにより、急性期治療後の患者の受入れ、在宅療養患者の急変時対応及び在宅復帰支援の充実を図るとともに、療養病床との機能分担を明確化し、既存病床の効率的な運用を推進する。

【別紙】医療法人　以和貴会　西崎病院

	変更前 病床数	変更 病床数	変更後 病床数
西崎病院	190床	＋９床 △11床（病床数適正化緊急支援事業） ＋20床（ウェルネス西崎病院と統合）	199床
ウェルネス西崎病院	20床	△20床（西崎病院と統合）	０床
介護医療医院	15床（休止）	＋15床（再開）	15床

医療法人フェニックス　博愛病院

1 病床削減の概要

開設者	所在地（市町村）	許可病床数（削減前）	許可病床数（削減後）	削減予定時期
医療法人フェニックス　博愛病院	南風原町	142床	136 床	令和9年3月予定

2 削減予定病床の病床数・病床種別・病床機能

病棟名	病棟の許可病床数	うち削減病床数	病床種別 （一般・療養・精神）	病床機能 （高度急性期・急性期・包括期・慢性期）	病床稼働率	休床の有無
4階A病棟	50 床	4床	精神科	急性期治療病棟	73.3 %	無し
6階C病棟	44 床	2床	精神科	療養病棟	91.2%	無し
合　計	94 床	6 床				

3 病床削減の理由

□医療従事者の確保が困難　☑ 病床利用率の低下　□ 施設の老朽化・建替え　☑経営改善・収支の悪化
□ 他機能（介護医療院・在宅医療等）への転換　□ 法人内・地域内の機能再編　□ その他（　　）

・4階A病棟(急性期治療病棟)の病床稼働率を踏まえて検討した結果、4床を削減し、医療の質と運営効率の両立を図る。
・6階C病棟(療養病棟)は44床の内、病床稼働率を踏まえ２床を削減し、病床数の適正化及び効率的な病床の運用を図る。

4 地域の医療提供体制に影響を及ぼすと考えられる事項とその対応状況

・急性期病棟(50床)は、病床稼働率を踏まえて4床の削減を行う。精神科救急・急性期対応等は維持し、入院医療体制に影響はない。
・療養病床(44床)の削減は、病床稼働率を踏まえ２床の削減を行うため、必要な入院医療体制は維持し、患者の受け皿としての影響はない。

医療法人 寿仁会　沖縄セントラル病院

1 病床削減の概要

開設者	所在地（市町村）	許可病床数（削減前）	許可病床数（削減後）	削減予定時期
医療法人寿仁会 理事長　大仲　良仁	那覇市与儀1-26-6	124 床	104 床	令和8年11月

2 削減予定病床の病床数・病床種別・病床機能

病棟名	病棟の許可病床数	うち削減病床数	病床種別（一般・療養・精神）	病床機能（高度急性期・急性期・包括期・慢性期）	病床稼働率	休床の有無
4階回復期リハビリ病棟	51 床	2 床	療養	慢性期（回復期リハビリ病棟）	67.0 %	無し
3階医療療養病棟	50 床	2 床	療養	慢性期（療養病棟）	69.6 %	無し
2階医療療養病棟	23 床	16 床	療養(地域包括ケア病棟)	慢性期（療養病棟）	47.8 %	無し
合　計	124 床	20 床	療養	慢性期（療養病棟）	68.3 %	無し

3 病床削減の理由

☑ 医療従事者の確保が困難　☑病床利用率の低下　☑ 施設の老朽化・建替え　☐ 経営改善・収支の悪化
☐ 他機能（介護医療院・在宅医療等）への転換　☐ 法人内・地域内の機能再編　☐ その他（　　）

看護師・介護職の確保が困難、2階病棟を一時休止し、3階、4階病棟に配置換えをR8年4月1日より行った。再開に向けて看護師・介護士の募集を継続しているが充足の見込みが立たず、安全な看護配置を維持するため、当該20床を削減することとした。

4 地域の医療提供体制に影響を及ぼすと考えられる事項とその対応状況

予定の削減病床20床は、看護要員不足を端にした病院全体の病床稼働率確保及び人員体制、連携機関との情報提供を基に入院受入整備であるが、昨今に見られるように同一法人内で患者移動や機能別病床の移動等により、回転率向上等、他の連携機関の連携に依存する必要性がない構造になってきております。従って、当法人の病床数削減による那覇・南部医療圏への影響度は小さいと思われます。地域包括ケア病棟16床の削減は上記に加え、近隣医療機関における病床転換等により、面でみた際の「地ケア病棟」が充足しつつあり、当院の病床維持需要は小さくなっています。しかしながら、外来機能は高齢者医療の達成や、日中の救急受入、外来からの入院受入体制を整備しつつ、下り搬送等や救急医療機関を逼迫する際の受皿機能として役割分担は維持していく予定です。

医療法人友英会　友寄クリニック

1 病床削減の概要

開設者	所在地（市町村）	許可病床数（削減前）	許可病床数（削減後）	削減予定時期
医療法人友英会	那覇市	１９ 床	１１ 床	令和９年３月

2 削減予定病床の病床数・病床種別・病床機能

病棟名	病棟の許可病床数	うち削減病床数	病床種別 （一般・療養・精神）	病床機能 （高度急性期・急性期・包括期・慢性期）	病床稼働率	休床の有無
友寄クリニック	１9床	8床	一般・療養病床	急性期・慢性期	33.2%	無
合　計	１９床	８ 床				

3 病床削減の理由

☑ 医療従事者の確保が困難　☑ 病床利用率の低下　☐ 施設の老朽化・建替え　☐ 経営改善・収支の悪化
☐ 他機能（介護医療院・在宅医療等）への転換　☐ 法人内・地域内の機能再編　☐ その他（　　）

看護師及び看護助手の確保が困難で、人手不足のため入院対応が出来ず病床稼働率が低下。現在の入院患者層は手術後及び内視鏡検査ポリープ切除後の短期入院が中心となっています。療養病床を中心に約４０%の病床を削減した１１床が適正規模と判断した為、当該８床を削減することとしました。

4 地域の医療提供体制に影響を及ぼすと考えられる事項とその対応状況

近年の稼働率低下により、病床の約半数以上に入院している患者がいない状態でした。引続き専門である消化器、肛門疾患の入院患者を受け入れていきます。
療養病床は無くなりますが、患者の受け皿としての影響はないと考えています。

病床に係る地区協議会での協議・報告事項について

②　病床機能の変更等に係る報告について

- 医療法人陽心会
- 沖縄第一病院

医療法人　陽心会

同一法人間の病床移動について

令和8年9月28日

	大道中央病院	メディカルプラザ大道中央病院
開設者	高良　健	高良　健
所在地	那覇市安里1-1-37	那覇市字大道123番地
診療科	内科、循環器内科、消化器内科、 リハビリテーション科，呼吸器内科、 形成外科、糖尿病内科、リウマチ科、 整形外科、外科、神経内科	循環器科、糖尿病内科、内科、人工透析内科、消化器内科、整形外科、リハビリテーション科、代謝内科、内分泌内科、脳神経内科、皮膚科、呼吸器内科、脳神経内科、 心療内科
外来患者数	5人／日	150人／日
入院患者数	221人／日	60人／日
許可病床	急性期一般病棟49床、 地域包括ケア病棟60床 回復リハビリテーション病棟115床(2病棟) 合計224床	地域包括ケア病棟60床
移動予定病床数 （種別・機能・入院料）	変更前：急性期一般病棟 49床 変更後：急性期一般病棟 0床	変更前：急性期一般病棟 0床 変更後：急性期一般病棟 49床
検査体制	CT、一般撮影装置、骨密度測定装置、 移動型X線装置 心エコー、腹エコー、心電図、ドライケム装置、自動血球装置、血液ガス分析装置	MRI、CT、X線TV装置、一般撮影装置、骨密度測定装置、外科用X線撮影装置、移動型X線装置 心エコー、腹エコー、心電図、生化学自動分析装置、血液ガス分析装置、自動血球装置、血液凝固測定装置、尿測定装置、肺機能測定装置、ABI検査装置
	基本的検査機器を整備	各種放射線装置を整備し、検体については各項目を測定できる機器を整備し両病院の検体をメディカルプラザ大道中央病院で測定
移動理由	検査頻度が高い大道中央病院の急性期一般病床を検査体制が充実しているメディカルプラザ大道中央病院へ移動し、検査部門との連携を密にすることによってより適切な医療が提供できる。両病院を適正な規模にしそれぞれの役割を分担する。	
地域への影響	両病院は地域的に近いことと、移動後も同じ急性期一般入院料であるため地域への影響はないと考えます。	
スケジュール	病棟の増築に合わせて現在3棟に分散している機能をひとつにまとめるための建築工事が長期間かかるため、令和9年4月に着工し完成が令和10年3月になると思われる。 病床移動は令和10年5月を予定しております。	

医療法人信和会　沖縄第一病院

1 病床の概要

開設者	所在地（市町村）	許可病床数（変更前）	許可病床数（変更後）	変更時期
医療法人信和会	南風原町	154床	変更なし（154床）	-

2 変更病床の病床数・病床種別・病床機能

病棟名	変更病床数	病床種別 （一般・療養・精神）	病床機能 （高度急性期・急性期・回復期・慢性期）	直近の病床利用率	休床の有無
4階病棟⇒5階病棟	50 床	一般病床	特殊疾患病棟入院料（慢性期）⇒地域一般入院料（回復期）	42%	無
合　計	50 床				

3 病床変更の理由

□医療従事者の確保が困難　☑病床利用率の低下　□ 施設の老朽化・建替え　□ 経営改善・収支の悪化
□ 他機能（介護医療院・在宅医療等）への転換　□ 法人内・地域内の機能再編　□ その他（　　）

4階病棟は特殊疾患病棟であるが、受入対象となる患者が少なく病床利用率が低下している。具体的には 4 階特殊疾患病棟の入院患者様は、令和8年10月1日に全て 5 階療養病棟へ移動し、 3 階一般病棟に入院中の透析患者様も段階的に 5 階療養病棟へ移動予定。

4 地域の医療提供体制に影響を及ぼすと考えられる事項とその対応状況

既存入院患者は院内。救急告示は継続し、受入体制に変更はない。
患者の受け皿としての影響はないと考える。